

第二十四回フオト旬会優秀作品(24年11月12日)

<自由題>



「世話たのむ」逃げた妻子の
置手紙 三春

寸評：奥さんと子供さんは旅行
にでも行ったのでしょうか？
世話を頼まれたご主人と犬が
仲良く散歩しています。

日溜りに空き家集いて
落ち葉聴く 大越 浩平
寸評：一時は繁栄した団地も空き
家が増えてきました。寂しい落ち葉
の秋です。擬人法が見事。



今日もまた働きもせず
でかい面 三春

寸評：何時通りかかっても駐車
しているだけで、走るのを見た
ことがない。でも目立つなあ。

<句 付 け>

11月の御題写真



分からぬと分かればそれが叡智なり	池田 隆
拝観し難問いただきありがたや	大月 和彦
石頭じゃりを集めてお説教	三春

<寸 評>今月の写真は池田さん出題の、黄檗山万福寺の庭の写真です。

池田さん：なにやら禅問答みたいですが、この石組の意味について考えれば考えるほど分からなくなる。分からないことを受け入れることが叡智であると。

大月さん：前者よりももっと素直な感想。拝観料まで払って見せてもらったが、やはり意味は難しくて判らない。さぞかし有難い教えなのであろうと自分で納得。

三春さん：前二者よりも更に直接的に、お寺の坊さんが子供達を集めてお説教をしている様子をイメージしています。坊さんを石頭、子供達をジャリと表現しています。確かに石でできた丸い頭を白い砂利が囲んでいますね。